

川西市における公共施設等の現状

- 1 本市の財政状況
- 2 本市における公共施設の現状
- 3 本市におけるインフラ・公営企業施設の現状

1 本市の財政状況

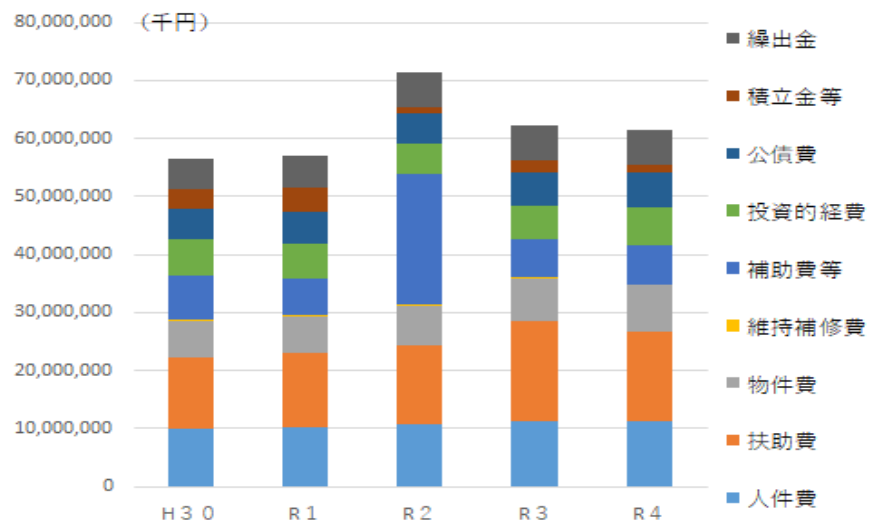
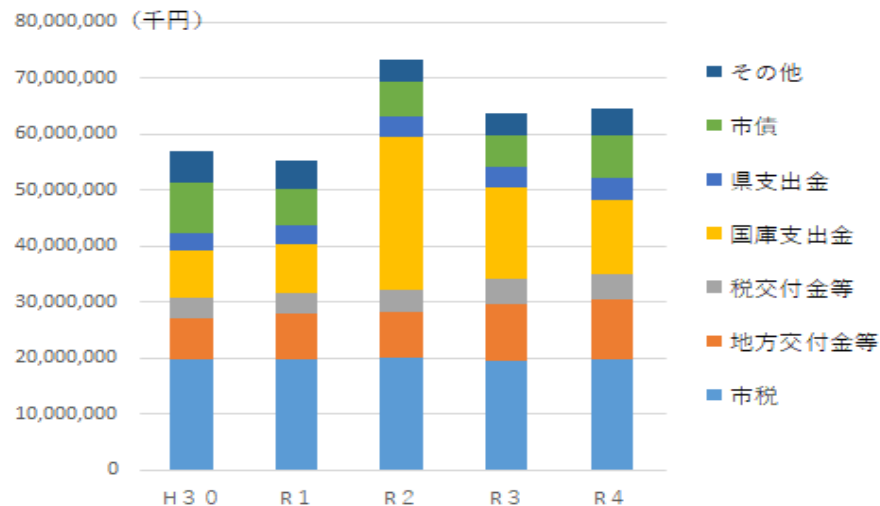
1 - 1 本市の財政状況（決算額の推移）

1 本市の財政状況

1-1 本市の財政状況（決算額の推移）

○本市では、令和4年度において、歳入・歳出ともに600億円を超える決算となっています。歳入では、5年間で見ると、地方税がほぼ横ばいなのに対し、地方交付税の依存財源が増加しています。

○歳出においては、人件費、扶助費が増加傾向になっています。また、投資的経費については、直近5か年の平均で年間約60億円程度となっています。



歳 入	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
市税	19,511,169	19,661,419	19,789,142	19,439,663	19,639,278
地方交付金等	7,423,384	8,124,709	8,154,968	10,061,552	10,533,915
税交付金等	3,757,092	3,554,510	3,898,994	4,583,267	4,591,068
国庫支出金	8,271,770	8,734,431	27,324,874	16,116,209	13,245,023
県支出金	3,248,762	3,475,312	3,712,632	3,822,269	4,070,235
市債	8,991,483	6,371,378	6,357,756	5,418,798	7,540,874
その他	5,646,839	5,043,042	3,720,388	4,019,465	4,852,046
合 計	56,850,498	54,964,801	72,958,754	63,461,224	64,472,438

歳 出	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
人件費	9,713,763	10,007,092	10,648,915	11,170,081	11,020,116
扶助費	12,294,067	12,837,179	13,585,250	17,249,219	15,562,067
物件費	6,262,761	6,254,239	6,825,243	7,211,811	7,962,343
維持補修費	239,650	223,722	248,703	228,156	168,495
補助費等	7,591,743	6,284,827	22,427,552	6,532,926	6,856,835
投資的経費	6,330,841	6,185,538	5,227,766	5,797,230	6,413,500
公債費	5,404,566	5,443,208	5,205,004	5,909,400	6,018,001
積立金等	3,238,463	4,107,036	1,177,041	2,037,094	1,300,820
繰出金	5,291,922	5,638,993	5,800,730	6,085,568	6,123,801
繰入金	56,367,776	56,981,834	71,146,204	62,221,485	61,425,978

2 本市における公共施設の現状

2-1 公共施設の分類・内訳

2-2 計画当初との比較

2-3 施設区分の内訳

2-4 公共施設の建築年別面積

2-5 公共施設の維持に係るコスト

2 本市における公共施設の現状

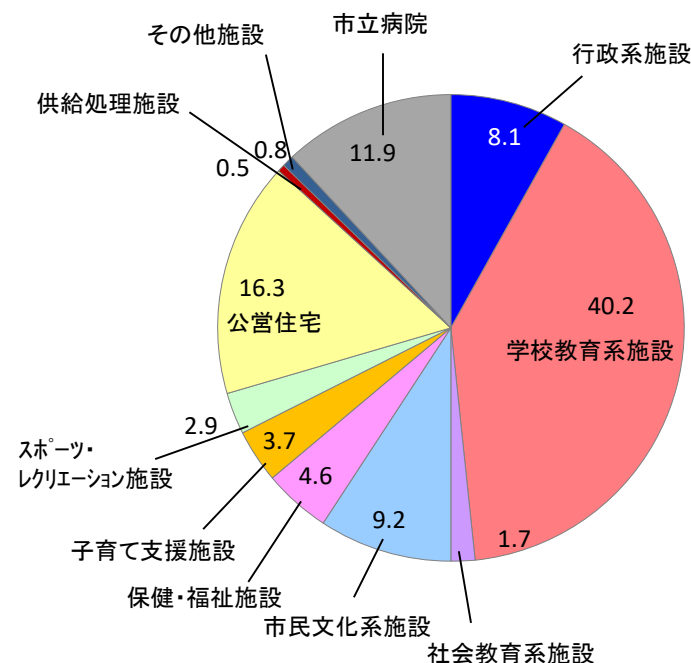
2-1 公共施設の分類・内訳

○本市の公共施設の総量は、令和4年度末（2022年度末）現在で247施設、延床面積429,533.30㎡となっています。

○全施設の延床面積に占める施設区分ごとの内訳を見ると、学校教育系施設が40.2%と半分近くを占めています。これに次いで、公営住宅が16.3%の比率となっています。

■公共施設の分類・内訳

施設区分	施設数	延床面積（㎡）	構成比（%）
行政系施設	36	34,758.38	8.1
学校教育系施設	26	172,837.59	40.2
社会教育系施設	6	7,135.08	1.7
市民文化系施設	66	39,664.58	9.2
保健・福祉施設	15	20,033.19	4.6
子育て支援施設	23	15,923.72	3.7
スポーツ・レクリエーション系施設	19	12,338.95	2.9
公営住宅	16	70,023.65	16.3
供給処理施設	2	2,166.98	0.5
その他	36	3,491.94	0.8
市立病院	2	51,159.24	11.9
合 計	247	429,533.30	100.0



※行政系施設の内、公民館に併設されている行政センター8施設については、市民文化系施設にカウントしています。

2 本市における公共施設の現状

2-2 計画当初との比較

○計画策定時（平成27年度末（2015年度末））と現状（令和4年度末（2022年度末））の公共施設の延床面積を比較すると57,557.05㎡の増となっています。

○主な要因としては、市立総合医療センター、キセラ川西プラザや消防本部・南消防署の建設等があります。また、機能廃止した建物の処分に時間を要しているため、公共施設の延床面積が増加している状況です。

施設区分	計画策定時 平成27年度（2015年度）末		現状 令和4年度（2022年度）末		増減
	施設数	延床面積（㎡）	施設数	延床面積（㎡）	
行政系施設	34	27,909.73	36	34,758.38	6,848.65
学校教育系施設	25	170,317.28	26	172,837.59	2,520.31
社会教育系施設	7	7,117.45	6	7,135.08	17.63
市民文化系施設	64	33,477.43	66	39,664.58	6,187.15
保健・福祉施設	15	16,228.97	15	20,033.19	3,804.22
子育て支援施設	24	11,642.93	23	15,923.72	4,280.79
スポーツ・レクリエーション系施設	19	11,588.14	19	12,338.95	750.81
公営住宅	19	66,700.25	16	70,023.65	3,323.40
供給処理施設	3	8,941.99	2	2,166.98	△ 6,775.01
その他	30	3,511.98	36	3,491.94	△ 20.04
市立病院	1	14,540.10	2	51,159.24	36,619.14
合 計	241	371,976.25	247	429,533.30	57,557.05

2 本市における公共施設の現状

2-3 施設区分の内訳

(下記は一例であり、表に含まれていない施設もあります)

行政系施設

施設	備考
市役所（本庁舎）	【中央町】
行政センター	各地区の公民館に併設された支所で、市内に計9カ所（大和行政センターのみ単独施設）
消防施設	消防本部・南消防署合同庁舎、北消防署及び3出張所

学校教育系施設

施設	備考
小学校・中学校・特別支援学校	小学校16校、中学校7校
中学校給食センター	

社会教育系施設

施設	備考
文化財資料館	【南花屋敷2丁目】市内遺跡から出土した文化財を収蔵・展示
中央図書館	【川西能勢口駅前「アステ川西」4・5階】
郷土館	【下財町】市内旧名家を移築復元・展示

市民文化系施設

施設	備考
公民館	川西公民館の他、各地区に8館
キセラ川西プラザ	【火打1丁目】
みつなかホール	【小花2丁目】
パレットかわにし	【小花1丁目「ジョイン川西内」】男女共同参画センター、市民活動センター、川西しごと・サポートセンターの複合施設

市民文化系施設

施設	備考
コミュニティセンター	満願寺・牧の台・加茂・多田東会館
共同利用施設	空港周辺地域にある集会等施設（15館）

保健・福祉系施設

施設	備考
保健センター	【中央町】各検診、保健指導、応急診療など
キセラ川西プラザ	【火打1丁目】
老人福祉センター	【長尾町、久代3丁目、緑台6丁目】 老人の保健増進・教養向上の推進など
総合センター	【日高町】 ・隣保館と児童館の複合施設

子育て支援施設

施設	備考
市立保育所・幼稚園・認定こども園	保育所4所、幼稚園4園、認定こども園4園

スポーツ・レクリエーション系施設

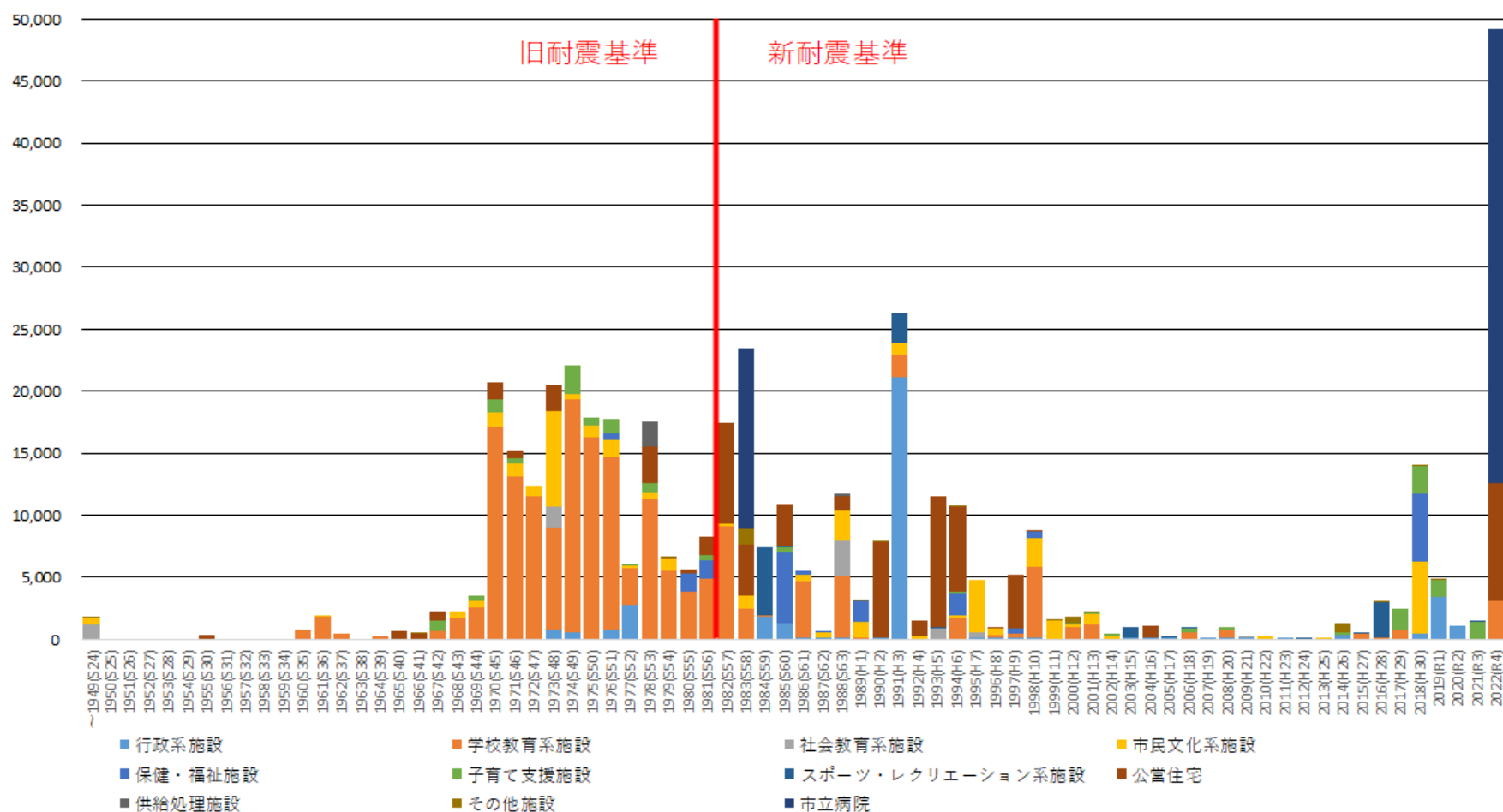
施設	備考
総合体育館	【火打1丁目】
市民体育館	【向陽台1丁目】
市民温水プール	【火打1丁目】
市民運動場	【向陽台1丁目】
東久代運動公園	【東久代1丁目】
知明湖キャンプ場	【黒川】

2 本市における公共施設の現状

2-4 公共施設の建築年別面積

○建築年別、施設区分別の延床面積の推移を見ると、1970年から1976年と、1983年及び1991年に延床面積が多くなっていることがわかります。主な要因としては、1970年代に大規模団地の開発による学校施設等の建築があげられ、1983年には市立川西病院、1991年では、現本庁舎、2022年では、市立総合医療センターが建築されたことなどが要因としてあげられます。

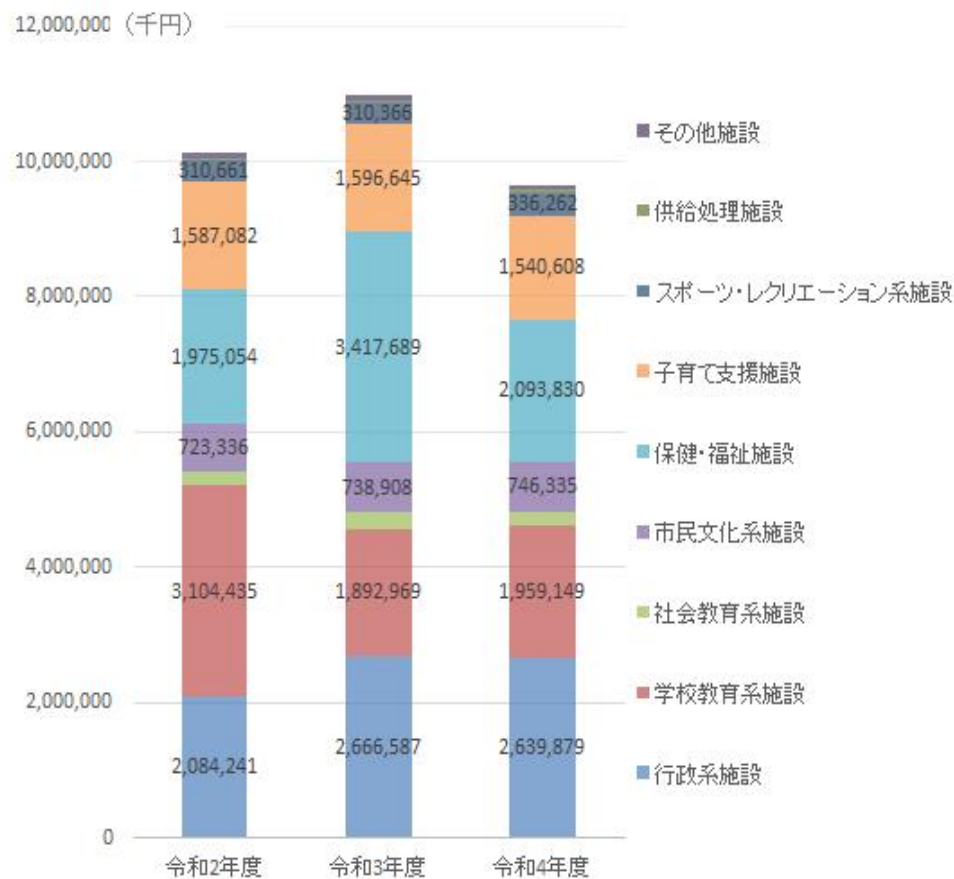
延床面積 (㎡)



2 本市における公共施設の現状

2-5 公共施設の維持に係るコスト

○施設区分ごとの令和4年度の施設維持経費（※）を見ると、行政系施設が最も多くなっています。



施設区分	(千円)		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
行政系施設	2,084,241	2,666,587	2,639,879
学校教育系施設	3,104,435	1,892,969	1,959,149
社会教育系施設	203,126	228,615	204,955
市民文化系施設	723,336	738,908	746,335
保健・福祉施設	1,975,054	3,417,689	2,093,830
子育て支援施設	1,587,082	1,596,645	1,540,608
スポーツ・レクリエーション系施設	310,661	310,366	336,262
公営住宅	△ 198,820	△ 148,735	△ 119,783
供給処理施設	36,423	37,269	38,559
その他施設	85,671	79,397	80,855
合 計	9,911,209	10,819,710	9,520,649

※ 施設維持経費：原則として公共施設データベースのコスト情報の支出（減価償却費は除く）から収入を差し引いた額。なお、公営住宅では利用料等による収入が支出を上回っているため「△」を表示。

3 本市におけるインフラ・公営企業施設の現状

3-1 道路

3-2 橋梁

3-3 上水道

3-4 下水道

3 本市におけるインフラ・公営企業施設の現状

3-1 道路

○都市の骨格を形成する幹線道路として、南北方向に国道173号、都市計画道路川西猪名川線、川西伊丹線が、東西方向には市域南部を国道176号、国道176号バイパスが通っており、市域内の幹線道路の動脈となっています。

○都市計画道路については、未整備区間のうち、呉服橋本通り線や、豊川橋山手線・見野線の整備を進めています。

種別	実延長 (m)	面積 (㎡)
1級幹線市道	38,736	335,905
2級幹線市道	35,035	337,800
その他の市道	425,745	2,791,743
専用道	384	6,915
歩行者道	6,733	31,583
市道計	506,633	3,503,946

【出典】道路管理課

※1級幹線市道：国道、県道を連絡する道路など

※2級幹線市道：1級幹線市道を補完し、基幹道路網を形成する道路

凡例



【出典】都市計画マスタープラン

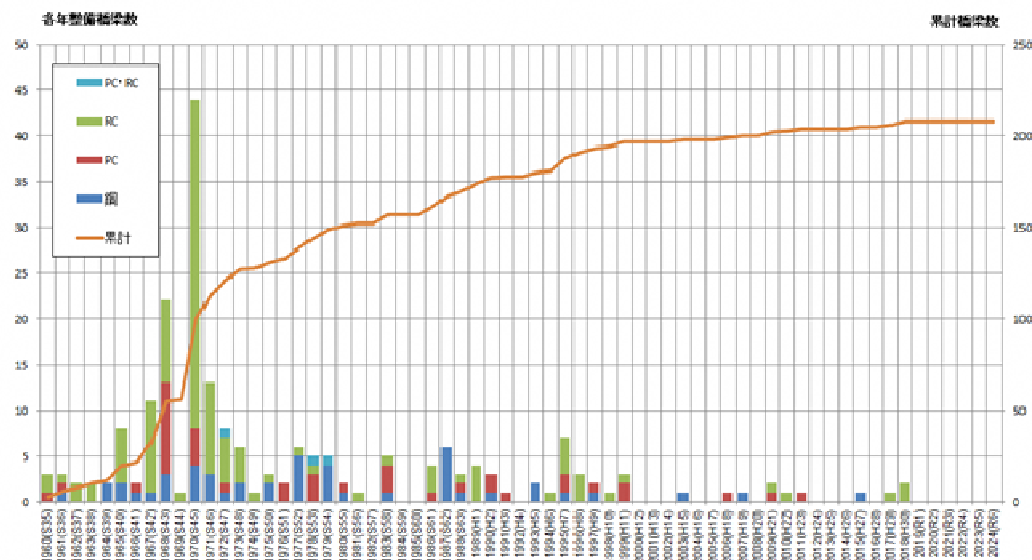
3 本市におけるインフラ・公営企業施設の現状

3-2 橋梁

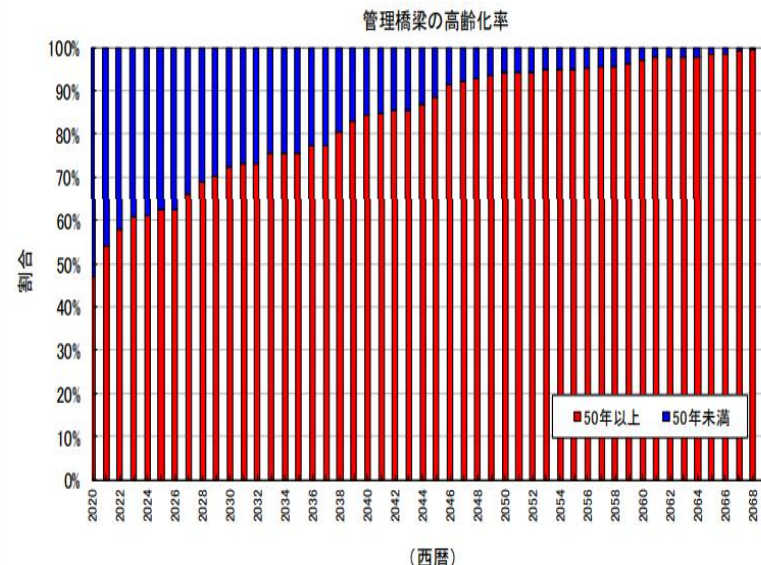
○本市が管理する橋梁は、1970年代を中心に架設されたものが特に多くなっています。建設から50年を経過する高齢化橋梁は、2022年で122橋ですが、今後20年後には180橋、約85%となり、急速に高齢化橋梁が増大します。

○こうした背景を踏まえ、本市では、今後増大が見込まれる橋梁の修繕・架替えを計画的に進めていくため、「道路橋長寿命化修繕計画」を策定しています。

■年度別の橋梁建設数の推移



■建設後50年以上を経過した橋梁の割合（推移の見込み）



【出典】道路橋長寿命化修繕計画

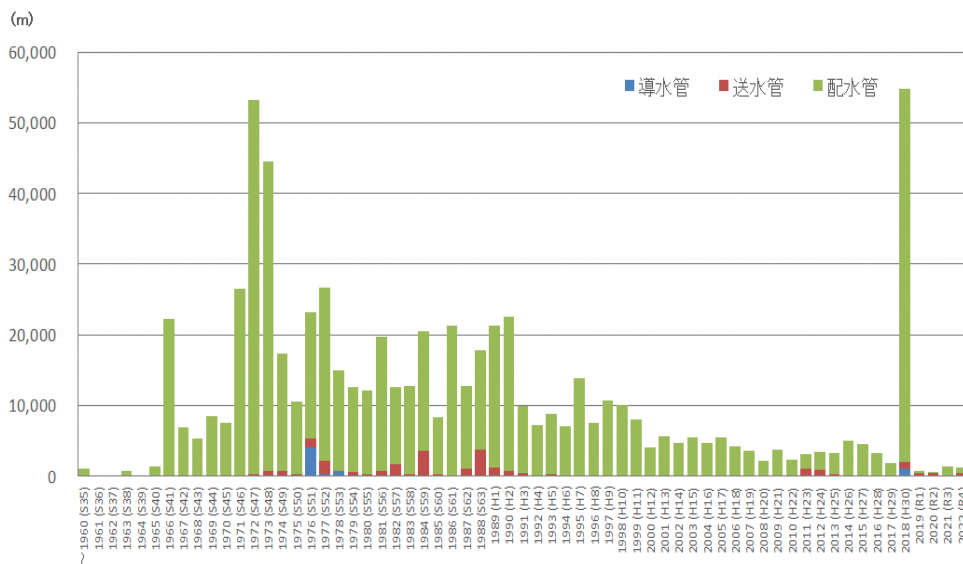
3 本市におけるインフラ・公営企業施設の現状

3-3 上水道

○給水区域は、久代浄水場から給水している「自己水区域」、県営多田浄水場に浄水処理委託し給水している「委託水区域」、県営水道からの「受水区域」の三つに大別されます。

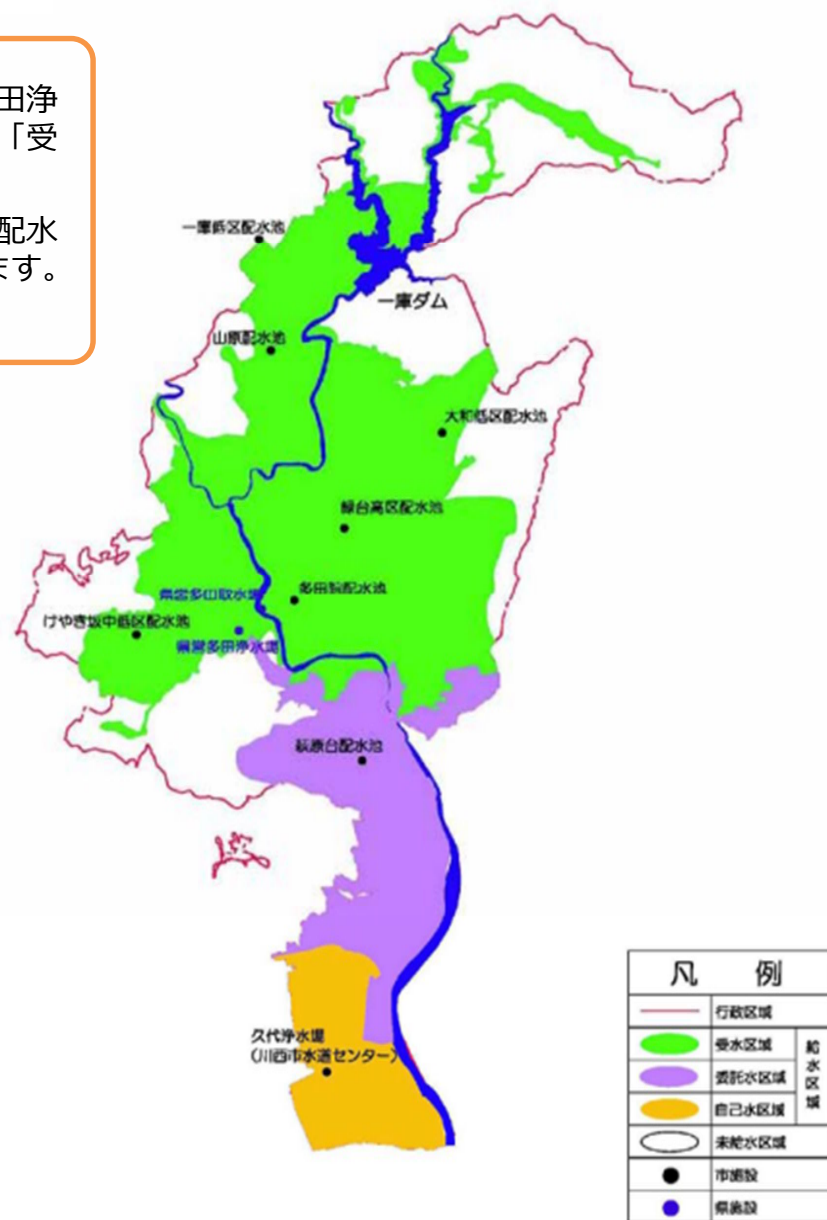
○本市が所有する唯一の浄水施設として「久代浄水場」がある他、送配水施設として、27カ所の配水池、総延長約625 k mの管路などがあります。

■管路の敷設年度別延長



【出典】上下水道局資料

給水区域図



【出典】川西市新水道ビジョン

3 本市におけるインフラ・公営企業施設の現状

3-4 下水道

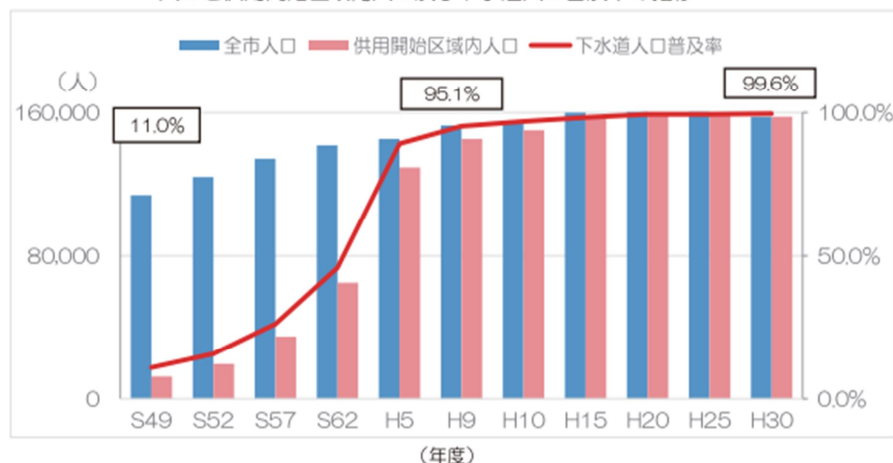
○本市の下水処理は、汚水と雨水を別々の下水道管で流す「分流式」となっています。

○汚水処理については、1965年（昭和40年）に、猪名川流域下水道事業が豊中市、池田市、箕面市、伊丹市、川西市の5市によって発足し、本市では昭和43年度に公共下水道に着手しました。その後昭和60年から平成初頭にかけては、民間開発による大規模団地の下水道施設の移管を受けるなど、整備延長は急速に拡大し、令和4年度には下水道普及率は99.8%に達しています。

○雨水排水については、昭和30年に市の中央部低地の雨水排水対策として着手したことに始まります。公共下水道と同様に、民間開発による大規模団地から雨水管渠などの施設を引き継ぎ、令和4年度には面積整備率は74.5%となっています。

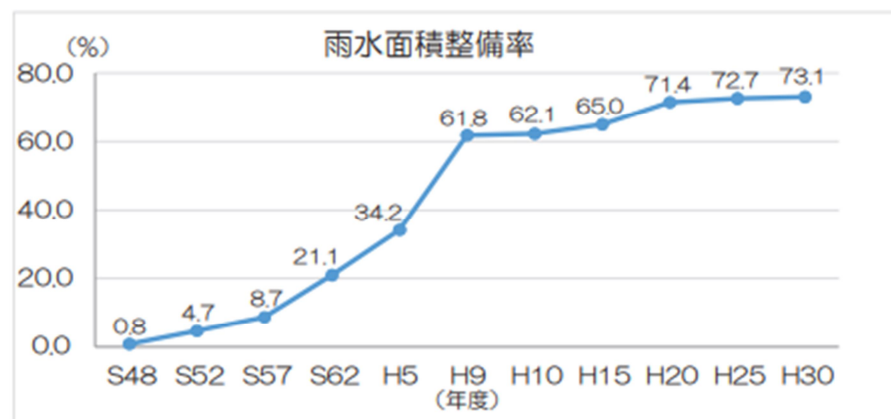
■下水道普及率の推移

人口と供用開始区域内人口及び下水道人口普及率の推移



【出典】川西市新下水道ビジョン

■雨水 面積整備率の推移

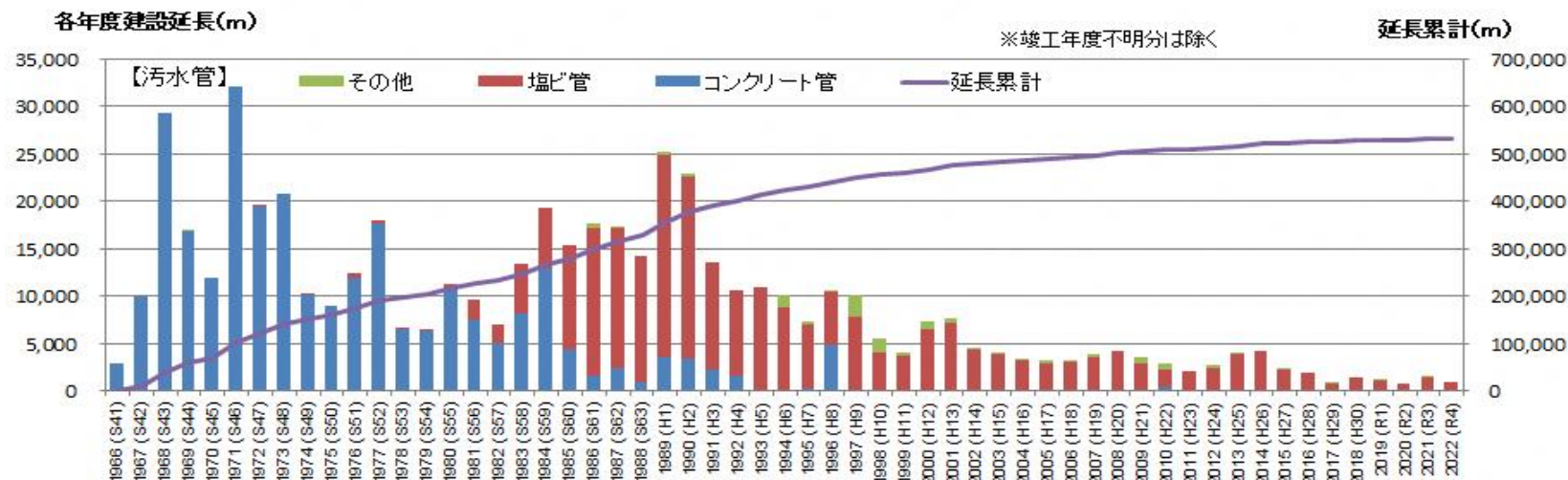


【出典】川西市新下水道ビジョン

3 本市におけるインフラ・公営企業施設の現状

3-4 下水道

■汚水管渠の建設延長の推移



■雨水管渠の建設延長の推移

